



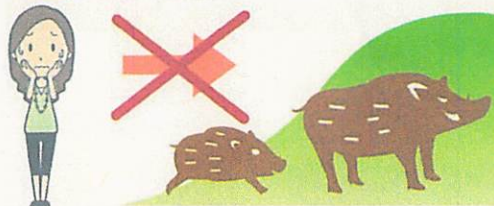
イノシシに注意しましょう！



イノシシとばったり出会ったら・・・

あせらずに落ち着いて行動し、安全を確保しましょう！

● 近づかない



- ・イノシシがこちらに気づいていない、イノシシとの距離が十分ある場合には、その場を静かに立ち去りましょう。
- ・子供のイノシシの近くには親がいます。かわいいといって近づくのは危険です。
- ・ほとんどの場合は、しばらくすると山に帰っていきます。

● 近づいてきた場合は後ずさりする



- ・イノシシが威嚇している、イノシシとの距離が十分ない場合には、イノシシの様子を見ながらゆっくりと後ずさりして離れましょう。
- ・木の陰に身を隠す、木に登る、石の上に乗る、住宅内に避難する。
- ・周囲を住宅の塀や崖などで囲まれており、逃げ道がない場合、イノシシに道を明け渡し、イノシシの逃げ道をふさがない。
- ・通常はイノシシが逃げていくので、近づかず、安全な場所に避難しましょう。
- ・傘(透明なもの以外)を持っている場合は、イノシシに向かって広げると突進してこないのが有効です。

● 刺激しない



- ・背中を向けて走り出す。驚かす、大声を出すなどは行わない。
- ・散歩中、イヌを連れ歩くと、イノシシは警戒して犬を襲うことがありますので、十分に注意してください。

イノシシが出没するおそれがある場所では、びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、特に夜に出歩くときは、音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。



イノシシってどんな動物？

基本的には、非常に臆病な動物です。



イノシシは次のような野生動物です

- 夜行性ではなく、昼間でも出没します。
- 雑食性で何でも食べます。
- 行動の範囲は、餌を探して1日に約1平方キロを動いているといわれます。出没しても、いつまでもその場所にいるわけではありません。
- 単独で見るとオスで、メスは、基本的に子や姉妹と群れで行動します。
- 生後1年半程度で生殖可能となり、春の4月～6月頃に平均4頭から5頭の子供を産みます。子供は縞模様があることから「ウリボウ」とよばれています。
- 助走なしで1.2mの柵を飛び越えたり、地面から20cmの隙間があればくぐり抜けることができます。

そうかと言って

すべてのイノシシを捕獲することは困難です

※ 毒物の使用や無許可での捕獲等は法律違反になります。

だから

イノシシを近づけない工夫をして、上手に共存共生していくことが大切です。

※ 積極的に捕獲も行います。

イノシシに関するご相談は・・・佐世保市役所 有害鳥獣対策室へ

☎0956-24-1111 (内線3057・3058)

直通 イノシシホットライン (☎0956-25-9698)

私たちにもできること

イノシシは、餌を探して動きまわっています。
イノシシが近づきにくい環境づくりが大切です。

① イノシシのエサがない環境づくり

●ゴミはきちんと管理する。

- ・家の周りにゴミを放置しない。
- ・ゴミを出すときは、地域で決められた時間、場所を守り、袋の口をしっかりと結ぶ。
- ・ゴミを荒らされないように、金属製のゴミ箱に入れたり柵で囲うことも効果的です。



●イヌやネコのエサやり

- ・エサは正しく与え、放置しない。
- ・ノラネコにエサを与えない。
- ・アライグマなども出てくるようになります。



●収穫後の残さ物の処分など

- ・収穫した残りの野菜や果物は放置せず処分する。
- ・お墓のお供え物などでもできるだけ持ち帰るようにする。



●不要な果樹などの伐採

- ・クリやどんぐり類（シイ、カシ、ナラなど）、カキの木がある場合、張り出した枝を払ったり、木を伐採したりしてイノシシを出没しにくくする。
- ・エサになる果樹があると、毎年同じ時期に出没します。



② イノシシが近寄りにくい環境づくり

●防護柵の設置

- ・庭や家庭菜園などは、ワイヤーメッシュ柵などで囲むと侵入防止に効果的です。
- ・作物を作って、防護の対策をしなければ餌付けしている状態と同じです。

●草払いの実施

- ・イノシシは草やぶなどを住処や移動場所にしています。地域で協力し草刈りをしましょう。

